ChemicalBook

安全データシート

硝酸ナトリウム

改訂日：2024-01-24 版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: 硝酸ナトリウム
CB番号	: CB8854258
CAS	: 7631-99-4
EINECS番号	: 231-554-3
同義語	: 硝酸ナトリウム,硝酸na

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 主たる用途は化学プラントなどの加熱・冷却システム用熱媒体，ガラス消泡剤，肥料・染料原料，硝酸カリ原料，ほうろう原料，熱処理剤，食品添加物 である。
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分2A), H319

酸化性固体 (区分3), H272

2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示

GHS03	GHS07

注意喚起語

警告

危険有害性情報

H272 火災助長のおそれ：酸化性物質。

H319 強い眼刺激。

注意書き

安全対策

P210 熱から遠ざけること。

P280 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P221 可燃物と混合を回避するために予防策をとること。

P220 衣類 / 可燃物から遠ざけること。

応急措置

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

2.3 他の危険有害性

なし

---

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: E251
化学特性(示性式、構造式 等）	: NNaO3
分子量	: 84.99 g/mol
CAS番号	: 7631-99-4
EC番号	: 231-554-3
化審法官報公示番号	: 1-484
安衛法官報公示番号	: -

---

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

医師に相談する。 この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。 呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。 医師に相談する。

皮膚に付着した場合

石けんと多量の水で洗い流す。 医師に相談する。

眼に入った場合

多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 口を水ですすぐ。 医師に相談する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

粉末 乾燥砂

5.2 特有の危険有害性

窒素酸化物(NOx), 酸化ナトリウム

不可燃性である。

5.3 消防士へのアドバイス

消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

5.4 詳細情報

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

---

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を使用する。 粉じんの発生を避ける。 蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。 十分な換気を確保する。 安全な場所に避難する。 粉じんを吸い込まないよう留意。個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃いてシャベルですくいとる。 漏出物を閉じ込め、防爆型の電気掃除機または湿ったブラシに より集め、地域の規則 (項目 13 を参照) に従い廃棄するために容器に移す。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

皮膚や眼への接触を避けること。 粉じんやエアゾルを発生させない。粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。発火源から離しておいてください－禁煙。熱や発火源から遠ざける。注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。 休憩前や終業時には手を洗う。

保護具

眼 / 顔面の保護

EN166に 適合するサイドシールド付き安全ゴーグル NIOSH（US）またはEN 166（EU）などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。 使用前に、必ず手袋を検査する。 （手袋外面に触れずに）適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。 適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。 手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

身体の保護

不浸透性衣服, 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、N100型（US）またはP3型（EN 143）呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。 NIOSH（US）またはCEN（EU）などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 固体

臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	5.5 - 8.0 at 50 grm/l at 20 °C
融点 / 凝固点	融点: 308 °C
沸点，初留点及び沸騰範囲	380 °C
引火点	引火しない。
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体、気体）	この製品はGHS分類の可燃性ではない。
引火上限/下限または爆発限界	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	非該当
比重	2.26 gPcm3 at 20 °C
水溶性	874 grm/l at 20 °C - 可溶
n-オクタノール / 水分配係数（log 値）	無機の物質には該当しない
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	この製品は、GHS区分 3 の酸化性に分類される。
相対ガス密度	非該当

9.2 その他の安全情報

相対ガス密度

非該当

---

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

データなし

10.2 化学的安定性

推奨保管条件下では安定。

10.3 危険有害反応可能性

データなし

10.4 避けるべき条件

チオシアン酸鉛を含む金属シアン化物の混合物を、金属塩素酸塩、過塩素酸塩、硝酸塩または亜硝酸塩と共に溶融すると、激しい爆発を引き起こす。他の溶融成分への（たとえ少量の残留物でも）一固体成分の添加も危険性が高い。 熱。

10.5 混触危険物質

強酸, 強還元剤, 金属粉体, 有機物, アルカリ金属, アルカリ土類金属, シアン化物, チオシアン酸塩

10.6 危険有害な分解生成物

その他の分解生成物 - データなし

火災の場合:項目5を参照

有害な分解生成物が火があるとき生成される。 - 窒素酸化物(NOx), 酸化ナトリウム

---

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

LD50 経口 - ラット - オスおよびメス - 3,430 mg/kg

LD50 経皮 - ラット - オスおよびメス - > 5,000 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 402)

(OECD 試験ガイドライン 401)

皮膚腐食性 / 刺激性

結果: 皮膚刺激なし - 4 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

備考: (類似製品と同様)

皮膚 - ウサギ

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 刺激性あり

(OECD 試験ガイドライン 405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

Local lymph node assay (LLNA)- マウス

(OECD 試験ガイドライン 429)

結果: 陰性

生殖細胞変異原性

Salmonella typhimurium

結果: 陰性

変異原性(ほ乳類での細胞試験): 染色体異常。

人間のリンパ球

結果: 陰性

変異原性(ほ乳類での細胞試験): 染色体異常。

チャイニーズハムスター繊維芽細胞

Ames 試験

(ECHA)

結果: 陽性

発がん性

る、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

IARC: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があ

生殖毒性

データなし

急性毒性（経口） - 粘膜に刺激, 吐き気, 嘔吐, 下痢

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

急性毒性（吸入） - おそれのある障害:, 粘膜の炎症

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

誤えん有害性

体内への吸収により、十分な濃度のときにチアノーゼをおこすメトヘモグロビンの形成を引きおこす。

症状の発現は2～4時間またはそれ以上遅れる可能性がある。

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

その他の危険な特徴を除外してはならない。

亜硝酸塩/硝酸塩全般に該当: 大量摂取後のメトヘモグロビン血症

が青く変色する)。

メトヘモグロビン血で頭痛、心不整脈、血圧低下、呼吸困難、けいれんを伴う。主徴: チアノーゼ(血液

多量に吸収後

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

RTECS: WC5600000

(類似製品と同様)

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - 28 d - 無毒性レベル - >= 1,500 mg/kg

追加情報

---

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

データなし

ミジンコ等の水生無脊

EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - 3,581 mg/l - 48 h

椎動物に対する毒性

備考: (IUCLID)

藻類に対する毒性

止水式試験 EC50 - 珪藻 - > 1,700 mg/l - 10 Days

備考: (類似製品と同様)

微生物毒性

止水式試験 EC50 - 活性汚泥 - > 1,000 mg/l - 3 h

(OECD 試験ガイドライン 209)

12.2 残留性・分解性

生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

12.3 生体蓄積性

12.4 土壌中の移動性

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。 アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却するが、この物質は引火性が高いので点火には特に注意をはらう。汚染容器及び包装製品入り容器と同様に処分する。

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID （陸上規制）: 1498　IMDG （海上規制）: 1498　IATA-DGR （航空規制）: 1498

14.2 国連輸送名

IMDG （海上規制）: SODIUM NITRATE

IATA-DGR （航空規制）: Sodium nitrate

ADR/RID （陸上規制）: SODIUM NITRATE

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID （陸上規制）: 5.1　IMDG （海上規制）: 5.1　IATA-DGR （航空規制）: 5.1

14.4 容器等級

ADR/RID （陸上規制）: III IMDG （海上規制）: III IATA-DGR （航空規制）: III

14.5 環境危険有害性

非該当

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR （航空規制）: 非該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

強酸, 強還元剤, 金属粉体, 有機物, アルカリ金属, アルカリ土類金属, シアン化物, チオシアン酸塩

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法:

第1類:酸化性固体, 硝酸塩類, 危険等級I, 第一種酸化性固体

毒物及び劇物取締法:

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

非該当

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

---

16. その他の情報

略語と頭字語

EC50: 有効濃度 50%

IATA：国際航空運送協会

LC50: 致死濃度 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

LD50: 致死量 50%

IMDG: 国際海上危険物

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

【2】化学物質審査規制法（化審法）https://www.env.go.jp

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） https://www.chemicoco.env.go.jp

【4】NITE化学物質総合情報提供システム （NITE-CHRIP）https://www.nite.go.jp/

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

免責事項：
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。